

【 12月19日(水) 室蘭民報(朝刊) 14面 】

★ 製鉄記念室蘭病院で「がんセミナー」

製鉄記念室蘭病院（前田征洋病院長）の「第46回市民公開がんセミナー」が18日、室蘭市知利別町の同病院がん診療センターであり市民ら約40人が「胆道がん」の治療に理解を深めた。

消化器内科・血液腫瘍内科の小野道洋主任医長が「他のがん同様、胆道がんも高齢化で罹患率は上昇している」と指摘。肝内胆管、遠位胆管、乳頭部、胆のう、肝門部領域胆管など「複雑で部位によって術式が大きく変わる」と強調＝写真。さらに

「黄疸（おうだん）の治療なくして胆道がんの治療はあり得ない」とし、内視鏡による検査などで状況を把握し、手術や抗がん剤治療に入ると説明。市民も真剣に耳を傾けていた。



（松岡秀宜）